市民の会通信　第１２号
２００４年7月２１日　発行
ハビタット福岡市民の会

ニューズレター第１２号　主な内容
- ２００４年世界ハビタットデーテーマ
- 国連ハビタット福岡事務所　職員紹介
- 国連ハビタット福岡事務所／市民の会イベント情報

２００４年世界ハビタットデーテーマ決まる

# ”Cities - engines of rural development”

今年の世界ハビタットデーは２００４年１０月４日（月）です。

## 世界ハビタットデーのテーマについて

毎年、国連総会で明示された１９８５年以来、世界ハビタットデーは１０月の第１月曜に祝われてきた。この日は世界が人間居住の状態と十分な住まいを持つ根本的な権利について熟考するためと、世界が人間の居住地の将来について共通の責任を持つことを気づかせるために、国連によって制定された。

今年の世界ハビタットデーのテーマは”Cities - engines of rural development”である。それは都市と地方両方の開発にとって必須である相互に有益となる連結の重要性を強調している。この相互の関係の中で、都市の市場は地方の生産と収入の増加に強力な動機を与え、一方で地方市場の発展が都市での加工製品の生産の需要を増加させる。ついには、都市は地方の一次的生産から派生した２次的、３次的な資本投資に至る。

今年、世界的なセレモニーは２００４年１０月４日にケニアの首都ナイロビがコーディネイトする。今年の世界ハビタットデーの世界的に祝賀するためにケニアのナイロビを選択したのはケニアを代表とする発展途上の世界での都市化の現象の速度と社会経済的な意味を強調するためである。

ナイロビ、またアフリカ、アジア、ラテンアメリカの都市のように今日世界でももっとも速く都市化の進んでいる場所にとって、今年のテーマは地方から都市への移住の明確な効果を最大限に評価するために都市と地方の問題を全体的に扱うことの重要性を強調している。それはまた総人口の８０％が都市部に住んでいるヨーロッパやアメリカの高度に産業化した都市からすでに学ばれた教訓ともっとも良い実践を引き出すことでもある。

”Cities - engines of rural development”というテーマはこのように、地方と都市が有益な相互関係を補強できるような統合したアプローチに基づいたアイデアを産み出そうと模索している。実際問題として、地方と都市を連続したダイナミックなシステムの一部として見なすことによってのみ我々は本当に都市と地方両方の継続的な開発を産み出すことができる。

翻訳：井上真由美

# 国連ハビタット福岡事務所　職員紹介

新しく国連ハビタット福岡事務所に入職された川嵜さんにインタビューしましたので、ご紹介します。

## 川嵜　渉さん

ジュニア・プロジェクト・エキスパート

E-mail: wataru.kawasaki@fukuoka.unhabitat.org

- 経歴、職歴 -

1997年　福岡県立新宮高校普通科卒業。同年4月、ブリタニカ国際出版社に就職。その後、米・英国に留学し、2002年5月 ミネソタ大学（米国）University of Minnesota, MN　国際関係学部開発科（フランス学・フランス語副専攻）学士修了。2003年9月　ロンドン大学開発学研究所 LSE: London School of Economics and Political Science, University of　London

DESTIN: Development Studies Institute（フランス語コース修了）修士修了。

2004年1月より、国連ハビタット　福岡事務所　ジュニア・プロジェクトエキスパート。

■どうやって国連ハビタット福岡事務所の職員に応募されたのですか？

2003年の秋に帰国して、就職活動をしている際に国連ハビタットの「World Habitat Day 2003 水と都市」の公開フォーラムに参加にしたことに始まりました。そこで、福岡にも国連機関があることに気づき、興味を持ちました。

■なぜ、国連ハビタット福岡事務所の職員に応募されたのですか？

もともと、開発学が専門で国連のような国際機関で働くのを志望しており、この国連ハビタットの活動やそのポリシーに共感し、また自分自身の更なるキャリアのステップアップのひとつとしてこの地元と融合し成長している国連機関で学びながら自分の力を試したいと望み応募しました。

■いつ国連ハビタット福岡事務所の職員に職員になられたのですか？

国連ハビタット福岡事務所には2004年1月から働き始めました。

■どんな仕事をしていますか？ジュニア・プロジェクト・エキスパートってどんなことをするんですか？

現在、国連ハビタットでは戦争・紛争後のまちの再建事業に重点を置いて活動しています。具体的なプロジェクトとしてはアフガニスタンにおいて展開している「地域総合開発」として主要都市で帰還民や国内避難民や女性が安心してなお自立して生活できるコミュニティーをつくると共に、住宅・施設やエコ・トイレを建設しているプロジェクトがあります。またカンボジアで事業展開している「プノンペン-住民参加型　貧困緩和プロジェクト」では、人口の約25％が貧困層または不法居住者といわれるプノンペン市での市当局や貧困層コミュニティー、NGOとの協力の下、住民参加型の貧困緩和とスラムの住宅環境改善に取り組んでいます。

このような国連ハビタットの事業において、私は人間居住専門官の携わっているアジア太平洋地域の発展途上国における開発プロジェクト推進のための計画やその管理のアシスタントをしています。例えば実際のプロジェクトの立ち上げに当たり、私の主な仕事は各プロジェクトの企画案や予算案の作成、現地スタッフの契約書の作成、適切に現地のニーズに応えるための現地とのやり取りやコーディネート、プロジェクトの進捗状況報告書や最終報告書等のまとめなど多岐にわたる業務です。そういった実際のプロジェクトの動きの中で私にとってこのハビタットでの経験は、より専門性を高めるために、ただ知識を積み上げるのではなく考える力を磨くことで物事を組み立てていくプロセスを学び、どんな状況においても全体を見渡しながら対応していく理論的な基礎と、現場で求められる柔軟性や、広い視野と語学力、そして考えを実行に移す能力を身に付けられる良い場だと実感しています。ここでの仕事は国際的感覚を磨くと共に、現地の人と一緒に活動をして成果を上げ自分にも満足感が生まれる、そんな「感動をもらう仕事」です。

■国連ハビタット福岡事務所に入ってどんなことを感じましたか？

国連ハビタット福岡事務所は、その「国際開発」や「開発事業」おいてのポリシーやアプローチが自分にとって一致したものと言えます。例えば､ハビタットの具体的なプロジェクトの内容としては、住宅、上下水道、街路等を発展途上国で整備することであり、その活動は地元の人たちと力をあわせ、よりよい居住環境をもった住みよい「まち」をつくっていくことにつながるのです。そんな開発事業の実施に当たって私は、住民自らが事業に参加することを促進している国連ハビタットはコミュニティーに極めて近い国連機関であり、日本とアジアの国々との本当の絆がこのような活動から生まれてくると信じています。

さらに事務所は「国連」と言うと固そうなイメージもありましたが、以外にも職員みんな気さくな人たちで安心しました。またアジア太平洋の窓口となる福岡の地に設置された九州唯一の国連機関として、国連ハビタットがこれからの国際化および日本の持続的発展にも大きく貢献していることを、私自身が実際にハビタットの活動に携わることで実感しています。

■これからの抱負は？

これからは、もっともっとハビタットの一員として、「国連ハビタット」を市民により開かれた国連機関として全国にまたアジアひいては世界に広げるとともに、今後自分自身もプロとして国連機関で活躍していけるよう国連の活動を学んでいきたいと願っております。

■趣味は？

水泳、和太鼓、フラメンコ、書道、　旅行、点字　など　(現在はあまりこれといったものはやっておりませんが。。。)

■休日は、どうやってすごされていますか？

いままで家族とほとんど一緒にいる時間がもてなかった私にとって今､休日に家族と出かけるなど一緒に過ごすことがとても大切なことです。また、地元の友人ともしばしば集まり、学生時代の話に花を咲かせ友好を深めています。

## ハビタット福岡事務所のイベント情報

### ー世界ハビタットデー関連イベントー

●絵画コンクール展示会　９月２５日（土）～10月3日（日）
●絵画コンクールコンクール授賞式　10月2日（土）
●世界ハビタットデー記念シンポジウム　10月4日（月）

上記イベントに関してハビタット福岡事務所より一般ボランティアが募集されています。

**募集内容**

| | |
|---|---|
| A) 8月末～9月24日 | 絵画コンクール応募作品の受付、審査、および展示会準備の補佐 |
| B) 9月25日～10月3日 | 展示会のアテンドおよび授賞式の運営補佐 |
| C) 10月4日 | 世界ハビタットデー記念シンポジウムの運営補佐（受付／資料配布など） |
| D) 9月～12月 | ハビタットの広報活動の補佐 |

**ボランティアの条件など**

・期間中、国連ハビタット福岡事務所および展示会場（九州エネルギー館・福岡市中央区薬院）にて10：00～　17：00まで（9月25日～10月3日の間は週末含む）お手伝いできる方。
・週２～３日程度、１日４時間程度従事できる方。

**注意事項**

・交通費などの支給はありません。
・ボランティア期間中は「ボランティア保険」ハビタット福岡事務所が加入手続きします。

ボランティアの登録など、詳しいことはハビタット福岡事務所に直接お問い合わせください。
担当：松鵜（まつう）さん

# イベントのお知らせ

## ハビタット福岡市民の会　設立５周年記念イベント

# CREATE FESTA 2004

## シンポジウム「アジアの教育事情」

日　時:2004年8月7日(土)
開　場:14:30　開演:15:00
会　場:福岡市健康づくりセンターあいれふ　10Fホール
入場料:無　料
報告者:教育支援活動をしているアジアの皆さん
◆サガール　シャルマさん　(ネパール)
◆ピーター　フェナンドプレさん　(スリランカ)
◆ダラ　プスピアルディニさん　(インドネシア)
コーディネーター:松田　美幸　(ハビタット福岡市民の会　代表)

## 世界音楽祭

日　時:2004年８月７日(土)
会　場:17:30　開演:18:00
会　場:福岡市健康づくりセンターあいれふ　10Fホール
入場料:一般1000円　小学生500円
＜主なプログラム＞
モンゴルの馬頭琴、ミャンマーの踊り、インドの古典舞踊と歌、ウイグルの踊り、オーストラリアの民族楽器、インドネシアのアンクルンとダンス、中国の漢民族の踊り、京劇の歌と演舞、セネガルのジェンベ太鼓

## バングラデシュのこどもの絵画展

日　時:2004年8月３日(火)～８日(日)
9:00～19:00(最終日は17:00)
会　場:福岡市健康づくりセンターあいれふ　1Fコミュニティプラザ
入場料:無　料
内　容:バングラデシュの９～10才のこどもの絵画約50点を展示
アジアの教育事情、教育支援の状況、共催団体の紹介など

主　催:クリエイトフェスタ実行委員会
共　催:ハビタット福岡市民の会、セミナー企画室「コスモポリタンズ」

## ハビタット福岡市民の会　事務局よりお知らせ

◆定例会　8月18日(水)18:30～　福岡市NPOボランティア交流センターにて
地球市民どんたく出展の話し合い等を行います。
◆１月１１日(日)に西鉄太宰府駅前で行ったアフガニスタン復興支援募金は日本ハビタット協会へ振り込みました。
●ホームページ　http://www2.ktarn.or.jp/~muta/cnhf/
●事務局FAX番号　092-928-5529　●E-mail　muta@ktarn.or.jp
●NPOボランティア交流センターにハビタット市民の会の連絡箱(No.2)が設置されました。
市民の会宛の郵便物は、下記へ
〒810-0041　福岡市中央区大名2-6-46　福岡市NPOボランティア交流センター　私書箱２号